

第6次総合計画策定事業

Q 冊子製本業務委託の具体的な内容は。

A デザイン構成を含めた印刷製本業務として、通常版300部及び概要版1000部を印刷した。なお、通常版・概要版とも町のホームページにも掲載している。

農業振興地域整備計画策定事業

Q 事業の内容は。

A 本計画は農業の振興を図ることが必要と認められる地域について、農業の健全な発展を図ることを目的とした計画であり、基礎調査に基づき改定することと法令で定められている。令和3年度に計画の改定が予定されているため、これに向けた基礎調査を実施した。

緊急経済対策住宅等リフォーム支援事業

Q 事業を実施したことによる経済効果は。

A 町内施工業者86者により、町内の個人住宅及び来客型店舗の改修工事が行われ、補助対象となった工事費の総額は5億2355万円であった。リフォーム業者や個人事業主、小売店等様々な事業者が参加した。

東毛広域幹線道路河津桜管理事業

Q 決算の内容は。

A 町内の造園業者に消毒及び剪定を委託したほか、協働管理委託実施要領に基づき決定した団体による除草を実施した。

交通弱者対策事業（高齢者タクシー利用料補助金）

Q コロナ禍にあって、乗合タクシー「たまりん」や町内を運行する民間の路線バスの利用人数が減少しているなかで、タクシー利用補助券の利用は増えている。理由は。

A 令和2年度より利用条件を緩和したことで補助券が使いやすくなったこと。加えて、コロナ禍で不特定多数が利用する交通手段よりもタクシーの方が安心して乗れると考えられたためと考えている。

環境基本計画推進事業

Q 産業祭で配布する予定だったラズベリーの苗木100本は、産業祭が中止となったため配布ができなかったとのことだが、別に機会を作って苗木を配布し、町民に育ててもらおう考えはなかったのか。

道路補修事業

Q どのような補修を行ったか。

A 工事費については、町内の建設業者と契約し、既存町道の舗装補修工事を38件行った。原材料費については、道路補修材を購入し、陥没等の緊急性の高い補修について地区担当者による補修を実施したほか、町職員で対応できる穴埋め補修等を職員で行った。

社会資本整備総合交付金事業（橋梁長寿命化）

Q 町内の19橋梁について近接目視点検を実施したことだが、点検内容と結果は。

A 専門的な知識を有する（公財）群馬県建設技術センターに検査を委託して実施し、コンクリートの剥離や破損、ボルトの緩みや腐食の有無等について目視で点検を行った。橋梁の健全度を4段階で評価しており、直ちに使用を停止する必要があると判定された橋梁はなかったが、補修優先度の高い橋梁は3橋あったため、来年度予算での補修を考えたい。

A 令和2年度はコロナ禍により産業祭が中止となったため事業を行うことができなかった。今後は代替の手段も検討したい。



し尿処理事業

Q 町内で発生するし尿及び浄化槽汚泥の処理委託料が増えているが、要因は何か。

A 委託料が増えた主な要因は委託する処理量が増えたことである。処理量が増えた理由については明確に把握できていないが、コロナ禍で在宅時間が増えたことにより家庭からの排出量が増加したと考えられること。また、県が浄化槽に関して指導を強化しており、法定検査の未受検者に対して検査や清掃を促していることなどが影響したものと考えられる。

未就学児集団移動経路安全確保緊急対策事業

Q 事業の内容は。

A 幼稚園・保育所周辺の安全を確保するため、第1保育所及び、にじぎの保育園かみのて周辺の水路蓋設置工事並びにマーガレット幼稚園周辺の側溝改良工事を行った。



側溝改良工事が完了したマーガレット幼稚園前

河川管理事業

Q 雑草除去委託料の規模や頻度は。

A 町の管理地における雑草を年3回定期的に除草している。毎年度決まった箇所のほか、区長からの要望等により、随時実施することもある。

河川監視カメラ整備事業

Q クラウド型監視カメラを3台設置したことだが、クラウド型とはどのようなカメラか。

A 町で画像データを管理せず、設置会社のサーバーから画像データを取り出す形式のカメラである。カメラ自体の性能も高性能であり、夜間でも水位の状況がはっきり見えるものとなっている。

お元気ですか訪問事業

Q 対象者は何名で、月に何回程度訪問しているのか。また、消耗品費の内訳は。

A 民生委員が見守り活動を兼ねて、ひとり暮らし高齢者を定期的に訪問する事業であるが、令和2年度は800人ほどいるひとり暮らし高齢者のなかで、希望者334人を対象に月に一度訪問した。消耗品費の内訳は、訪問する際に持参するトイレトペーパー等の購入費用である。